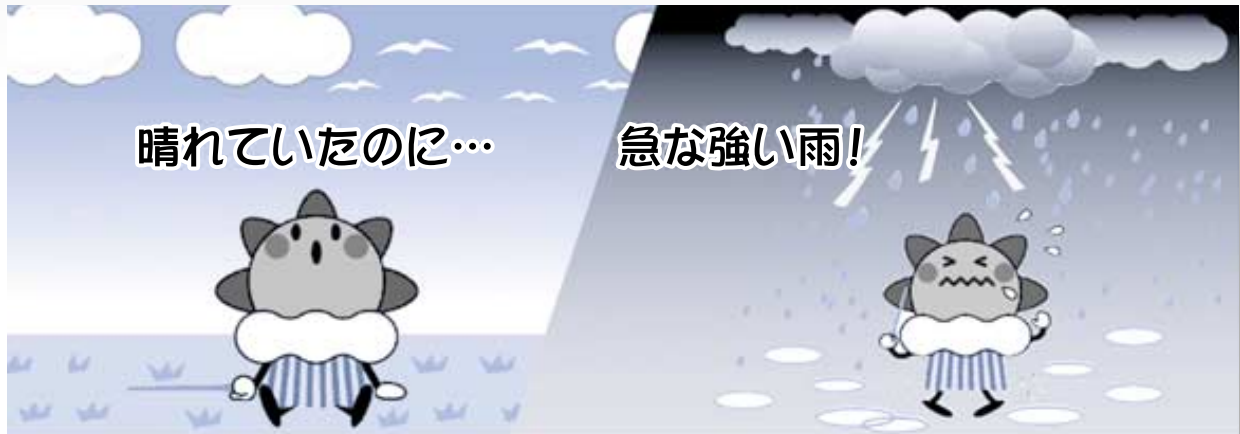


夏場の局地的大雨にご注意を!

夏場は、南からの暖かく湿った空気と、上空の寒気により、広範囲にわたって大気の状態が不安定となり、短時間の大雨、落雷、突風などの現象が発生しやすくなります。昨年、7月28日には、兵庫県神戸市の都賀川において局地的大雨に伴う川の増水で子ども3人を含む5人が亡くなっています。

局地的大雨から身を守るためには、最新の気象情報を確認することが大切です。局地的大雨になりやすい気象状況かどうか、警報や注意報は発表されていないか、雨雲が近づいてこないかなどを確認するとともに、周囲の状況の変化に注意を払い、天気の急変に備えることが必要です。そして何よりも、「自分の身は自分で守る」という気持ちを忘れないようにしましょう。



- ◆ **真っ黒い雲**が近づき、周囲が急に**暗くなる**。
- ◆ **雷鳴**が聞こえたり、**雷光**が見えたりする。
- ◆ **ヒヤッとした冷たい風**が吹き出す。
- ◆ **大粒の雨**や「**ひょう**」が降り出す。



雨が降り始めたら、**すぐに水辺から離れ、高いところへ避難**しよう!

浸水した場所では**足元に注意!**



問合せ先

気象庁前橋地方气象台防災業務課 ☎027-231-1404
役場町民生活課生活環境室 ☎54-3111(内線144)
詳細は気象庁ホームページからも見ることができます。
http://www.jma.go.jp/jma/kishou/info/tenki_chuui.html